



ひまわりが咲き乱れる前で

8月22日から26日まで、小学1年生から中学1年生までの男子10名、女子14名を連れて、信州へ行ってきました。今回は、小学1、2年生でなんと半数を占めました。ナビゲーターはNPO日本高齢・退職者福祉推進協会の杉本久さん(すぎさん)、平山鎌司さん(けんさん)、マザーネットからは毎回参加の水谷しんさん、上田、そして現在マザーネットでインターンシップ中の立命館大学3年生山本沙和さん(やまちゃん)の64才から21才までの男性3名、女性2名で担当しました。早速、ご報告します。

### 1日目 キャンドルファイヤーは、いつも子どもたちに大人気

8時15分に新大阪集合。今回は低学年の子どもたちが多く、「この子どもたちみんな、スクールの参加者ですか？上田さん、大変！」とお母さんたちから励ましのお言葉。でも高学年にはリピーターの子どもたちも多いので、きっと助けてくれるはず。お母さん、お父さんたちに手を振って、バスは無事出発・・・のはずでしたが、渋滞に巻き込まれて、みやちゃん(小4)がまだ到着しません。桃山台からの乗車も間に合わず、運転手さんに相談すると、京都深草に停車するとのこと。「京都まで追いかけてください！」とお父さんの携帯にお電話し、途中何度もやりとりしますが、なかなか私たちのバスが見つからないとのこと。子どもたちも心配して、一生懸命さがしてくれます。ヒヤヒヤしていると、停車直前になって、運転手さんが「さっきから、車線変更するたびに、着いてくる車がいる。あれとは違いますか？」と教えてくれました。無事、みやちゃんに会うことができました。本当によかったです！途中2回の休憩をはさみ、到着まで約6時間。気持ち悪くなっていないか、注意深くチェックします。

14時45分に信州高遠少年自然の家に着。東京から参加のはるかちゃん、れみちゃん姉妹も無事到着していました。まずは和室でオリエンテーション。自分の名前と学校名、学年をみんなに告げ、あいさつします。大人たちも同じように自己紹介しますが、「好きなのはお酒です」とか「新幹線の中に住んでいます」という挨拶に、子どもたちは大爆笑。初めて出会った仲間とも、笑いとともに、少しずつなじんでいきます。

ログハウスに帰った後は、ゆったりと自由行動。早速、虫をつかまえたようです。

夕食の前には、合気道、体育館遊び、スケッチの中から、その日の気分好きなプログラムを選択。スケッチは、バイクを描く子、ひまわりの前に座り込む子、思い思いのままに描き、完成後はしんさんにアドバイスをもらいます。

バイクの夕食の後はキャンドルファイヤー。一人一人、蜀台を持ち、ろうそくに火をつけます。ろうそくを見つめる子どもたちの目、ものすごく輝いています。最後にしっかり掃除をすることを約束し、床の上にろうをたらしちゃっていいことにしました。子どもたちは「危ないこと、汚いこと、うるさいこと」が大好き。いつもだめだ！というのではなく、危ないことにもチャレンジさせてあげることは、五感を目覚めさせるためにも、とても大切なことだと思っています。



ろうそくを見つめるとき、子どもたちの瞳は輝きます

## 2日目 初めてのカヌー遊び

長いバスの旅で疲れているので、ゆっくり寝かせてあげようと思ったら、子どもたちの方が早起き。「まだ寝てるの？」と起こしてくれます。今日は、バスで40分の美和湖に出かけます。美和湖は、南アルプスから流れ出す三峰川と黒川の水流をせき止めて造った南北5キロの多目的人造湖。ダムの高さは69メートル、湖面は海拔815メートル。今回お世話になったのは、長谷村の村会議員も務める、NPO美和湖倶楽部代表の羽場好美さん。ライフジャケットをしっかりとつけ、体操をして体をほぐしたら、自分たちでカヌーを運びます。そしていざ湖へ。みんな、想像以上に早いスピードで、沖へ進んで行くのでびっくりです。本能のまま・・・という感じ。最後には、カヌーの上から湖に飛び込み、じゃぶじゃぶと泳いでいました。

私もチャレンジしてみました。不安定で、ドキドキして、本当におもしろかったです。カヌーを自分たちで作ることも出来るとのことなので、今度はそこからやってみる機会を作りたいと思います。

カヌーの後は、羽場さんが作ったおいしいランチ。完熟トマトのミートスパゲティ、クリームスープ、グリルチキン、あつあつポテト・・・。運動の後のあつあつかい手作りスープ、本当においしかったです。



緑に囲まれた中での食事は最高です

昼食後は、ダムについてのお話をお聞きし、ダム制御室の見学をさせていただきました。

流域の降水情報や、ダム下流の放水の様子などが、モニター画面に表示されています。見学の後には、ダム湖周辺をみんなで歩きました。トンネルを抜けると、胡桃の木を発見！実をもらって、道に何度も投げていると、私たちの知っている固いクルミの実が出てきました。発見でした！

夕方には自然の家にもどり、今日も選択プログラム。女の子たちは、熱心に絵を描いていました。「こんなにみんなが絵が好きだとは思わなかった。こういう関心や興味を伸ばしてあげる機会が大事なんだと思った。才能が見え隠れしていたので」とは、しんさんからのコメントです。

夕食後はゆったりと過ごしました。



湖岸まで協力してカヌーを運びます



二人で力を合わせないと、前へは進めません



ライフジャケットをつけているので、じゃぶじゃぶ泳いでも平気



お風呂の後のアイスは最高！  
みんなに大人気です

### 3日目 食について学んだ小淵沢ツアー

今日は、小淵沢一日ツアーへ出発！バスの中では、大人たちが自分の出身県についてのクイズを出しました。すぎさんは群馬県の出身。大学生のやまちゃんは岐阜県の出身。しんさんは長野県の出身。それぞれの県でとれる果物や、県を流れる川の名前などをクイズに。こういう風に、それぞれの出身の方に話してもらって、すーっと頭に入ります。学校で習った時に、思い出してくれるかな。そうこうするうちに、長野県から山梨県へ。とてもどかな風景が広がっています。バスは、雪印乳業のチーズ研究所に到着。チーズの作り方をやさしく教えていただき、アニメでチーズが出来た理由を学び、その後、さけるチーズ(ストリングチーズ)作りにチャレンジ。子どもたちにも人気のさけるチーズは、このチーズ研究所で誕生。エプロンと帽子をつけて、長靴をはいて、手を消毒して、手袋をして、万全の体制でチーズ作りへのぞみます。乳に乳酸菌を加えたものに、熱湯を加えて練り(ここは大人の仕事。非常に熱い！)、水の中で伸ばしながら固めます。出来上がりをすぐに食べてみましたが、適度な塩味で、かつ温かく、歯ざわりがとてもよいのです。熟成に時間がかかるので、夕方にもう一度立ち寄ることになりました。



バスの中は、大盛り上がりです！



子どもにもわかりやすく説明してくださった田中所長

昼食は、一人600円の予算で、グループごとに買い物をしました。リーダーが小さい子たちの面倒をよくみてくれるのが、とてもうれしいです。コンビニで600円、自由に使えるというのは、とても幸せ。ご飯とおかずを買ったら、余ったお金は自由に使っていいというルールにしました。遊戯王カードやおもちゃなど、イキイキと選んでいます。

午後は、サントリー天然水白州工場へ。いつも飲んでいる天然水がものすごいスピードで出来上がっていく様子を熱心に見つめていました。見学の後は、実験やクイズを通じて、水の基礎知識や自然の仕組みを学びます。「人の体は半分以上が水からできている。これ本当？」(これは○です)などのクイズが。大人でも勉強になる内容でした。

その後は、チーズ研究所にもどり、お楽しみの手作りチーズを受け取ります。一つ一つ、丁寧にバックしていただきました。待ちきれず、バスの中ですぐに食べ出します。

今日は遠出したので、自然の家にもどった後はのんびりと過ごしました。初めて出会ったお友達とも、すっかり仲良くなってきました。逆に、けんかも出来るようになります。



木の呼吸が聞こえるかな？

### 4日目 木のパズルは、子どもたちの想像力をかき立てて

台風が接近とのこと。朝から雨が降り出しました。残念ながら農作業体験は中止。その代わりに、自由木工の時間としました。講師はいつもお世話になっている北原夫妻。春には木の家作りでお世話になりました。自由に作ってもらうにあたって、こちらから、動物のパズルとパレット型の木にオルゴールと木の実を貼り付けたものを用意しました。こういうサンプルを見ることで、子どもたちの想像力がムクムクと湧き上がってくるようです。思い思いに好きな作品作りにチャレンジ。特にパズルのデザインにはびっくりしました。なかなかの大作なので、完成は明日になりそうです。



デザイン中のちーちゃん(中1)



電動ノコギリで真剣に作業中の  
れみちゃん(小2)

午後は、カレー作り。薪を割るのは高学年の男の子、野菜を切るのは小2までの男女、鍋を番するのは高学年の女の子、と何も言わないのに、自然と役割分担していました。出来あがったカレーは最高においしかったです。



すぎさんに薪の割り方を教わるなつみくん(小5)



しんさんのアシスタントを務めたひろとくん(小2)



上手に皮をむくゆうたくん(小2)

楽しかったスクールもあつという間に最後の夜になりました。毎回恒例のスクールを振り返っての一言感想。いろいろ体験したことも、文字に落としこみ、みんなの前で発表して、さらに味わい深くなると思っています。終了後は私のピアノコンサート&すぎさんのトランプ手品&しんさんのマジックショー。大盛り上がりです！ビンゴも白熱しました。好きなもの、当たったかな？



熱いのがんばった  
ちひろちゃん(小4)

## 5日目 またいつか会おうね！

台風が無事通りすぎ、今日は快晴。朝食後は部屋の掃除をして、木工室へ。お昼前には、それぞれの作品が出来上がりました。

昼食後は出発までの少し時間を惜しんで、虫たちを追いかけていました。最後のプログラムは、高遠町での夕食のお買物。予定していたスーパーではもの足りないとのことで、急ぎコンビニにも寄ることに。自由な買物も3日目に続いて2回目なので、低学年のみならずいぶん要領がよくなりました。セブンイレブンでは、スーピーのスープ皿がもらえるキャンペーン中。得点シールのはってある商品を選んで、私のところにシールを持ってきてくれます。このチームワークはすごかった！こういうことに、子どもたちは燃えるんだ、と少しびつくり。引き換えたお皿は、冬のスクールのビンゴの商品にする約束をしました。

楽しかったスクールも、いよいよあと少しに。伊那市のバス停で、東京組のはるかちゃん、れみちゃん、すぎさん、けんさんを見送り、大阪行きのバスに乗りました。最後まで、しおりの歌を歌いながら、バスは大阪に到着。「また会おうね」と約束して、名残惜しく、解散しました。



こんな個性的な作品が出来上がったよ！

## ◆全体を振り返って

今回で10回目のスクール、延べ300名の子どもたちが参加してくれています。サマースクールも4年目となります。今回、子どもたちに少し変化があるように感じたことがあります。低学年の子どもたちに「他人のことも、自分のことのように感じられる心」が、少し弱まっているように思ったのです。友だちに対して、かなりきつい言葉をかけたり、やや自分だけがよければいい、という気持ちが強いように感じました。いろいろな大人と接する機会が減ったり、ゲームなどとの過剰な接触があったり、子ども本来は変わっていないのに、大人たちがこのような環境を作り上げていることが背景にあるのかもしれませんが。スクールでどんなことができるのか。ある日、ある女の子の財布がなくなりました。ひどく落ち込んでいるのに、みんな知らん顔。みんなを集めて話しました。「もしも、自分の財布がなくなったらどうする？悲しくない？」。すると、何か心に届いたような気がしました。その後は、一緒に部屋中を探してくれました。こういう会話を投げかけていくことで、何か伝われば・・・と思います。子どもたちの未来のために、私に、そしてマザーネットのスクールで何が出来るのか、考え続けていきたいと強く思いました(上田)。